

● SHIYONG RIYU CONGSU

实用日语丛书

● 吴侃主编

日语常用汉字2000字



上海交通大学出版社

实用日语丛书

日语常用汉字 2000 字

主 编 吴 侃
编 者 (以姓氏笔画为序)
元金香 巨 涛
张 颖 金玺罡

上海交通大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语常用汉字 2000 字/吴侃主编. —上海:上海交通大学出版社, 2000

(实用日语丛书)

ISBN 7-313-02536-X

I. 日… II. 吴… III. 日文-汉字 IV. H362

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 50673 号

日语常用汉字 2000 字

吴侃主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路 877 号 邮政编码 200030)

电话: 64071208 出版人: 张天蔚

上海交通大学印刷厂印刷 全国新华书店经销

开本: 890mm×1240mm 1/32 印张: 4.875 字数: 137 千字

2000 年 11 月第 1 版 2000 年 11 月第 1 次印刷

印数: 1~3050

ISBN 7-313-02536-X/H·487 定价: 8.50 元

版权所有 侵权必究

前 言

本书是一本日语常用汉字手册,包括下列汉字:

- 1) 常用汉字表的汉字(1945字)。
- 2) 人名用汉字(166字)。
- 3) 《日语能力测试出题标准》中的Ⅰ级补充汉字(110字)。

因2)、3)两项有部分重复,实收汉字2212字。这些汉字能足够满足阅读、书写普通日语文章、个人书信、业务信函以及参加各类日语考试的需要。

日语中的汉字无疑是日语的难点之一。但对于中国学习者来说,书写汉字和理解汉字的意义并非难点。有的西方人学习日语时,从「空中」「空港」推测「空车」是“飞机”的意思,这类笑话一般不会出现在中国人身上,即中国人一般能够较容易地理解前两个词中的“空”与后一个词中的“空”的不同含义。当然,也有一些中日文汉字同形异义的现象,如:“湯/开水、喧嘩/吵架、差別/歧视”等等,理解或使用错误会带来大笑话,但这类词毕竟不多,而且,在学习过程中基本上可以做到“过目不忘”。对于中国人来说,主要的难点有两个。一是读音,在各国留学生集中的日本的学校中,每次汉字考试,写法、(与意义相关的)用法上,中国学生总是得高分,但汉字读音部分总是中国学生得分最低。主要原因大概是中国学生已经明白汉字的意义,不愿下工夫进一步学习它,尤其是一些细节上的区别。同时,日语汉字读音本来就十分复杂,有音读、训读、惯用音等,其中,有的还不只一个读法。另一个难点是难以掌握汉字使用的规范,主要倾向是汉字使用得过多。这自然与中国人知道的汉字多有关。

鉴于上述情况,本书重点放在汉字的读音上,同时,本书所收的汉字就是一个使用规范,即在普通的日语文章中,只要使用本书所收集的汉字即可,这也基本上是日本中小学教育、媒体等使用汉字的规范。

本书中,常用汉字表的汉字,均按照读音列举例词,其中从字面不易推

测意义者,加上了中文对译词。关于人名用汉字,实际上并无读音的规定(即日本人在起名时,可较自由地自己确定一个读音),本书中举出了代表性读音。《日语能力测试出题标准》的补充汉字,只举出了该“标准”中列出的音训。

本书因编者水平有限,编写时间仓促,缺点、错误在所难免。欢迎各位同仁及广大读者批评指正。惟愿本书能为各位读者解决一点实际问题。

主 编

2000年10月

凡 例

- 1) 本书汉字及一个汉字中的几个读音按照日本“常用汉字表”排列。
- 2) 有异体字的汉字,其异体字加圆括号放在相应汉字后面。
- 3) 每个汉字的例词用中圆点(·)隔开;例词和中文释义用斜线(/)隔开;例词中,该汉字在前和在后的例词用双竖线(∥)隔开。
- 4) “熟字训”排在相同汉字后面,并以尖括号标明“熟字训”。
- 5) “人名用汉字”按照读音,同音的字按照笔画排在相应位置,并用尖括号标明“人名用”。
- 6) “日语能力测试出题标准”中的 1 级补充汉字,以尖括号注明“非常用”。

漢字さくいん

【一画】

「丶部」

丸 がん
丹 たん
主 しゅ
井 どんぶり

「一画」

一 いち
七 しち
丁 ちよう
干 かん
与 よ
下 か
三 さん
上 じよう
丈 じよう
万 まん
丑 ちゆう
不 ふ
甘 かん
丘 きゆう
且 かつ
世 せい
丙 へい
平 へい
兩 りよう
丞 じよう
百 ひやく
来 らい

甚 じん
爾 じ

「丨部」

中 ちゆう
北 ぼく
非 ひ

「丿部」

乃 だい
久 きゆう
之 し
生 せい
乏 ぼう
及 きゆう
年 ねん
拜 はい
乘 じよう
乘 じよう
舞 ぶ

「乙部」

乙 おつ
九 きゆう
也 や
乱 らん
乳 にゆう
飛 ひ
乾 かん
亂 らん

「丨部」

了 りよう
予 よ

事 じ

【二画】

「一画」

亡 ぼう
玄 げん
亦 えき
亥 がい
交 こう
亨 こう
享 きよう
京 きよう
亭 てい
亮 りよう
夜 よ
高 こう
率 そつ
産 さん
齊 せい
齋 さい

「丨部」

冫 ぎ
冷 れい
准 じゆん
凄 すごい
凍 とう
寒 かん
凝 ぎよう

「一画」

冗 じよう

写 しゃ
冠 かん

「二部」

二 に
五 ご
互 ご
井 せい
亘 こう
亜 あ
亞 あ

「十部」

十 じゆう
千 せん
午 ご
升 しょう
支 し
半 はん
卑 ひ
卒 そつ
卓 たく
南 なん
卑 ひ
準 じゆん
博 はく
幹 かん

「厂部」

厄 やく
厚 こう
厪 りん
原 げん

「匸部」

区 く
 巨 きよ
 匹 ひつ
 匡 きょう
 匠 しょう
 医 い
 匿 とく
 區 く

「卜部」

外 がい
 占 せん
 貞 てい

「リ部」

刈 かる
 刊 かん
 刑 けい
 列 れつ
 判 はん
 別 べつ
 利 り
 刻 こく
 刷 さつ
 刺 し
 制 せい
 到 とう
 削 さく
 前 ぜん
 則 そく
 剃 そる
 劍 けん
 剛 ごう
 劑 ざい
 剖 ぼう
 副 ふく

剩 じょう
 割 かつ
 創 そう
 剩 じょう
 劍 けん
 劇 げき
 劑 ざい

「冂部」

冂 えん
 冊 さつ
 再 さい
 肉 にく

「八部」

八 はち
 公 こう
 六 ろく
 共 きょう
 兵 へい
 其 その
 具 ぐ
 典 てん
 首 しゅ
 兼 けん
 興 こう

「入部」

入 にゅう
 内 ない
 兩 りょう

「人部」

人 じん
 介 かい
 今 こん
 以 い
 会 かい
 企 き

余 よ
 來 らい
 傘 さん
 會 かい

「亻部」

化 か
 仁 じん
 仏 ぶつ
 仕 し
 囚 しゅう
 仙 せん
 他 た
 代 だい
 付 ふ
 令 れい
 伊 い
 仮 か
 休 きゅう
 件 けん
 伍 ご
 仰 ぎょう
 仲 ちゅう
 伝 でん
 任 にん
 伐 ばつ
 伏 ふく
 佛 ぶつ
 位 い
 何 か
 佐 さ
 作 さく
 伺 し
 似 じ
 住 じゅう
 伸 しん

但 ただし
 体 たい
 低 てい
 伯 はく
 伴 はん
 佑 ゆう
 伶 れい
 依 い
 価 か
 佳 か
 供 きょう
 使 し
 侍 じ
 侮 ぶ
 併 へい
 侑 ゆう
 例 れい
 係 けい
 侯 こう
 俊 しゅん
 信 しん
 侵 しん
 促 そく
 俗 ぞく
 便 べん
 保 ほ
 侮 ぶ
 併 へい
 俺 おれ
 儉 けん
 個 こ
 候 こう
 借 しゃく
 值 ち
 倒 とう

俳はい
倍ばい
俵ひょう
倣ほう
俸ほう
倫りん
假か
偉い
偽ぎ
偶ぐう
健けん
側そく
停てい
偵てい
偏へん
傑けつ
備び
傳でん
傍ぼう
僅わずか
傾けい
債さい
催さい
傷しょう
僧そう
働どう
偽ぎ
憎そう
像ぞう
僕ぼく
僚りょう
價か
儉けん
億おく
儀ぎ

儒じゆ
償しょう
優ゆう
「勺部」
勺しゃく
勺におう
匆もんめ
勿もち
包ほう
「儿部」
允いん
元げん
兄けい
光こう
充じゆう
先せん
兆ちよう
免めん
克こく
児じ
兒じ
免めん
党とう
「几部」
凡ぼん
処しょ
「厶部」
去きよ
参さん
参さん
「又部」
又また
双そう
反はん
友ゆう

収しゆう
受じゆ
叔しゆく
叙じよ
隻せき
「攴部」
延えん
廷てい
建けん
「丩、邑部」
叩たたく
卯ぼう
印いん
危き
却きやく
卽そく
卵らん
卸おろす
卷かん
卷かん
卽そく
「卩部」
防ほう
阿あ
阻そ
附ふ
限げん
院いん
陷かん
降こう
除じよう
墮じん
陞へい
陷かん
陰いん

険けん
陳ちん
陶とう
陪ばい
陸りく
隆りゆう
陵りよう
随ずい
隆りゆう
階かい
隅ぐう
隊たい
陽よう
隔かく
隙すき
隱いん
際さい
障しょう
險けん
隨ずい
隣りん
隱いん
「卩部」
那な
邦ほう
邸てい
邪じゃ
郁いく
郊こう
郎ろう
朗ろう
郡ぐん
郭かく
郷きよう
都と

部ぶ
郵ゆう
都と
郷きょう

「口部」

凶きょう
凹おう
出しゅつ
凸とつ
画が

「刀、刂部」

刀とう
刃じん
分ぶん
切せつ
色しよく
初しよ
券けん
亀き

「力部」

力りよく
加か
功こう
幼よう
劣れつ
助じよ
努ど
励れい
劳ろう
効かゐ
協きょう
効こう
勉べん
勅ちよく
勇ゆう

勉べん
勸かん
動どう
務む
劳ろう
勤きん
募ぼ
勤きん
勸かん
勢せい
勲くん
勳くん
勵れい
勸かん

【三画】

「彳部」

汁じゅう
汚お
汗かん
江こう
池ち
汐せき
汽き
決けつ
沙さ
汰た
沢たく
沈ちん
冲ちゅう
没ぼつ
泳えい
沿えん
河か
泣きゅう

沉きょう
沼しょう
治じ
注ちゅう
泥でい
波は
泊はく
泌ひつ
沸ふつ
法ほう
泡ほう
油ゆ
海かい
活かつ
洪こう
洸こう
洵じゅん
洋よう
津しん
浅せん
洗せん
染せん
洞どう
派は
淨じょう
浩こう
消しょう
浸しん
浜ひん
浦ほ
浴よく
浮ふ
涙るい
流りゅう
浪ろう

海かい
涉しょう
淨じょう
淺せん
液えき
涯がい
渴かつ
渥あく
溪けい
混こん
洪じゅう
淑しゅく
淳じゅん
涉しょう
深しん
清せい
濟さい
添てん
淡たん
涼りょう
淚るい
温おん
渦か
湖こ
減げん
港こう
滋じ
湿しつ
渚しよ
測そく
渡と
湯とう
溝まん
湧わく
湾わん

渴 かつ
溪 けい
滑 かつ
漢 かん
源 げん
溝 こう
滯 たい
滅 めつ
溶 よう
溜 たまり
滝 たき
温 おん
満 まん
演 えん
滯 たい
漬 つける
漆 しつ
漸 ぜん
滴 てき
漠 ばく
漂 ひょう
漫 まん
漁 ぎよ
漏 ろう
漢 かん
澁 じゆう
潔 けつ
潤 じゆん
滂 かつ
潜 せん
澄 ちよう
潮 ちよう
澤 たく
激 げき
濁 だく

濃 のう
濱 ひん
濟 さい
濕 しつ
濡 ぬらす
濯 たく
濫 らん
潛 せん
瀧 たき
瀬 せ
瀨 せ
灣 わん
「卜部」
忙 ぼう
快 かい
怪 かい
性 せい
怖 ふ
怜 れい
悔 かい
恒 こう
恆 こう
恨 こん
悦 えつ
悟 ご
悌 てい
惱 のう
悔 かい
惟 い
惚 ぼける
惨 さん
情 じよう
惜 せき
悼 とう
悼 とん

惱 のう
慌 こう
情 だ
愉 ゆ
慨 がい
慎 しん
愼 しん
惨 さん
慣 かん
憎 ぞう
慢 まん
慨 がい
憧 あこがれる
憤 ふん
憎 ぞう
憶 おく
懷 かい
憾 かん
懷 かい
「宀部」
安 あん
宇 う
守 しゆ
宅 たく
完 かん
宏 こう
宛 あて
官 かん
宜 ぎ
実 じつ
宗 しゆう
宙 ちゆう
定 てい
宝 ほう
客 きやく

室 しつ
宣 せん
宴 えん
家 か
害 がい
宮 きゆう
幸 さい
宵 しょう
容 よう
寅 いん
寄 き
寂 じゃく
宿 しゆく
富 ふ
寬 かん
寢 しん
實 じつ
寢 しん
寡 か
察 さつ
寧 ねい
寬 かん
寫 しゃ
審 しん
寮 りよう
竇 ほう
「广部」
广 こう
序 ちよう
庄 しょう
序 じよ
床 しょう
底 てい
店 てん
府 ふ

度ど
 庫こ
 座ざ
 庭てい
 康こう
 庶しよ
 庸よう
 廢はい
 廊ろう
 廊ろう
 廉れん
 腐ふ
 廣こう
 廢はい
 廳ちよう
 「え部」
 辺へん
 込こむ
 巡じゆん
 迅じん
 近きん
 迎げい
 返へん
 述じゆつ
 迪てき
 迭てつ
 迫はく
 逆ぎやく
 送そう
 退たい
 追つい
 逃とう
 迷めい
 這はう
 逝せい

造ぞう
 速そく
 逐ちく
 通つう
 遞てい
 途と
 透とう
 連れん
 逸いつ
 週しゆう
 進しん
 逮たい
 違い
 運うん
 過か
 遇ぐう
 遂すい
 達たつ
 遅ち
 道どう
 遍へん
 遊ゆう
 遞てい
 遠えん
 遣けん
 遙よう
 遮しゃ
 遭そう
 適てき
 遲ち
 遺い
 逸いつ
 遵じゆん
 選せん
 遷せん

遼りよう
 還かん
 避ひ
 邊へん
 「工部」
 工こう
 巧こう
 左さ
 式しき
 差さ
 「土部」
 土と
 圧あつ
 至し
 地ち
 圭けい
 在ざい
 坊ぼう
 均きん
 坑こう
 坂はん
 幸こう
 垂すい
 坪つぽ
 城じよう
 垣がき
 型けい
 垢あか
 埋まい
 域いき
 基き
 堀ほり
 執しつ
 堂どう
 培ばい

堪かん
 堅けん
 場じよう
 墮だ
 塚つか
 堤てい
 塔とう
 報ほう
 壘るい
 塀へい
 塩えん
 塊かい
 塑そ
 塚つか
 塗と
 墓ぼ
 境きよう
 塾じゆく
 増ぞう
 墨ほく
 塀へい
 墮だ
 増ぞう
 墜つい
 壞かい
 墳ふん
 壑こん
 壤じよう
 壇だん
 壁へき
 墨ほく
 壓あつ
 壘るい
 壞かい
 壤じよう

堯ぎょう

「土部」

士し
壯そう
壯そう
声せい
売ばい
壺いち
壺つぼ
壹いち
鼓こ
壽じゆ
臺たい

「艸部」

芋いも
芝しば
苾しん
芙ふ
芳ほう
若じゃく
英えい
苑えん
芽が
芸げい
花か
苦く
莖けい
苗びよう
茉まつ
茂も
荒こう
茹ゆでる
茜あかね
草そう
莊そう

茶ちや
莖けい
莊そう
荷か
華か
莉り
菓か
菊きく
菌きん
菜さい
黄こう
著ちよ
萌ほう
著ちよ
萬まん
葵き
萩しゅう
葬そう
葉よう
落らく
蓉よう
蓋ふた
蒔まく
蒸じよう
蓄ちく
蔵ぞう
蔦ちよう
蔞ろ
薰くん
薪しん
薦せん
薄はく
藥やく
藏ぞう
薰くん

藍らん
藝げい
藤とう
藩はん
藥やく
蘇よみがえる
藻そう
蘭らん
繭けん

「大部」

大だい
太たい
天てん
夫ふ
央おう
失しつ
奇き
奈な
奉ほう
奔ほん
契けい
奏そう
爽さわやか
奥おく
奥おく
奨しょう
獎しょう
弁べん
弊へい

「井部」

「尢部」

尢もつとも
就しゅう

「寸部」

寸すん
寺じ
寿じゆ
対たい
專せん
耐たい
封ふう
射しゃ
将しょう
專せん
將しょう
尉い
尋じん
尊そん
對たい
奪だつ
導どう

「弋部」

式に

「扌部」

才さい
打だ
扌ふつ
扌あつかう
扌ぎ
扌こう
扌しょう
扌たく
扌とう
扌は
扌ぼつ
扌ひ
扌ふ
扌よく

拂 ふつ
拔 ばつ
押 おう
拐 かい
拡 かく
拒 きよ
抛 きよ
拘 こう
招 しょう
拙 せつ
拓 たく
担 たん
抽 ちゅう
抵 てい
拝 はい
拍 はく
披 ひ
抱 ほう
抹 まつ
括 かつ
挟 きょう
拾 しゅう
拷 こう
拶 さつ
指 し
持 じ
挑 ちょう
挿 そう
挨 あい
挾 きょう
振 しん
搜 そう
捕 ほ
掛 かける
据 すえる

掘 くつ
掲 けい
控 こう
採 さい
捨 しゃ
授 じゆ
推 すい
接 せつ
措 そ
掃 そう
探 たん
排 はい
描 びょう
握 あく
援 えん
換 かん
揮 き
揃 そろい
插 そう
提 てい
揚 よう
揺 よう
掲 けい
搜 そう
揺 よう
携 けい
撰 せつ
損 せん
搭 とう
搬 はん
搾 さく
摘 てき
撮 さつ
撒 まく
撤 てつ

撫 なる
撲 ぼく
擇 たく
據 きよ
操 そう
擁 よう
擔 たん
擬 ぎ
擦 さつ
擴 かく
攝 せつ
「小、ツ部」
小 しょう
少 しょう
当 とう
尚 しょう
单 たん
敵 げん
黨 とう
「口部」
口 こう
可 か
句 く
古 こ
号 こう
司 し
史 し
只 ただ
叱 しかる
召 しょう
台 だい
右 う
吉 きち
吸 きゅう
叫 きょう

向 こう
后 こう
合 こう
如 じよ
吊 つる
吐 と
同 どう
名 めい
吏 り
含 がん
吟 ぎん
君 くん
呉 ご
吾 ご
告 こく
吹 すい
呈 てい
吠 ほえる
否 ひ
呂 ろ
呿 つぶやく
呼 こ
舍 しゃ
呪 のろう
周 しゅう
知 ち
味 み
命 めい
和 わ
哀 あい
咳 せき
哉 さい
咲 さく
品 ひん
唇 しん

員 いん
峻 さ
倉 そう
哲 てつ
唐 とう
喝 かつ
啓 けい
商 しょう
唱 しょう
問 もん
唯 ゆい
渴 かつ
營 えい
喚 かん
喜 き
喫 きつ
喬 きょう
喧 けん
喉 のど
善 ぜん
喪 そう
單 たん
鳴 めい
嗣 し
嘆 たん
嘉 か
嘆 たん
嘩 か
器 き
嘘 うそ
囁 しょう
嗜 そ
嗜 うわさ
噴 ふん
舗 ほ

器 き
營 えい
嚇 かく
囁 かむ
嚴 げん
囁 しょう
「口部」

因 いん
回 かい
団 だん
囿 い
困 こん
囿 ず
固 こ
国 こく
國 こく
圈 けん
圍 い
圈 けん
圓 えん
園 えん
團 だん
圖 ず

「巾部」

市 し
布 ふ
帆 はん
希 き
帝 てい
帥 すい
婦 き
師 し
席 せき
帶 たい
帶 たい

常 じょう
帳 ちょう
幅 ふく
帽 ぼう
幕 まく
幣 へい
「山部」

山 さん
岐 き
岩 がん
岳 がく
岸 がん
岬 みさき
峽 きょう
峠 とうげ
峽 きょう
峻 しゅん
島 とう
峰 ほう
崖 がけ
崎 さき
崇 すう
崩 ほう
密 みつ
嵐 あらし
嵩 すう
嶽 がく
嶺 れい
巖 がん

「彳部」

行 こう
役 やく
往 おう
徑 けい
征 せい

彼 ひ
後 ご
待 たい
律 りつ
徑 けい
從 じゅう
徐 じよ
徒 と
從 じゅう
御 ぎよ
得 とく
術 じゅつ
循 じゅん
復 ふく
街 がい
微 び
徵 ちよう
德 とく
徹 てつ
德 とく
徵 ちよう
衝 しょう
衛 えい
衛 えい
衡 こう
「彡部」

形 けい
彦 げん
修 しゅう
彩 さい
彫 ちよう
彬 ひん
彰 しょう
影 えい

「夕部」

夕せき
多た
夢む

「夕部」

冬とう
各かく
変へん
夏か
變へん

「犴部」

犯はん
狂きよう
狙ねらい
狩しゆ
独どく

狭きよう

狭きよう

猪ちよ

猛もう

猘りよう

猫びよう

猶ゆう

猿えん

獄ごく

獨どく

獲かく

獵りよう

「尸部」

尺しゃく

尻しり

尼に

尽じん

局きよく

尿によう

尾び

届とどける

屈きよ

屈くつ

屋おく

届とどける

展てん

属ぞく

層そう

履り

層そう

屬ぞく

「己部」

己こ

巳し

巴は

「弓部」

弓きゆう

引いん

弔ちよう

弘こう

弟てい

弘げん

弥び

弧こ

弱じゃく

強きよう

張ちよう

弾だん

發はつ

弾だん

「巾部」

屯とん

「女部」

女じよ

奴ど

好こう

妃ひ

妾もう

妾だ

妊にん

妙みよう

妨ぼう

委い

妻さい

始し

姉し

姓せい

妹まい

威い

姻いん

妾し

姫ひめ

娛ご

娘むすめ

娠しん

婚こん

婆ば

婦ふ

婿せい

媒ばい

嫁か

嫌けん

嫡ちやく

嬉うれしい

嬢じよう

嬢じよう

「么部」

幻げん

幽ゆう

幾き

「子部」

子し

孔こう

字じ

存そん

孝こう

孤こ

学がく

孟もう

孫そん

學がく

「川部」

川せん

州しゆう

「四画」

「…部」

点てん

烈れつ

煮しゃ

然ぜん

焦しょう

無む

照しよ

煮しゃ

熊ゆう

熟じゆく

熱ねつ

黙もく

「斗部」

斗と

料りよう

斜しゃ

「文部」

文ぶん
斐ひ
齊せい
齋さい

「方部」

方ほう
於おいて
施し
旅りよ
族ぞく
旗き

「火部」

火か
灰かい
灯とう
災さい
炎えん
炊すい
炒いためる
炉ろ
炭たん
焼しょう
煩はん
煙えん
燈とう
燒しょう
燃ねん
燥そう
爆ばく
爐ろ

「心部」

心しん
必ひ
応おう

忌き
志し
忍にん
忘ぼう
忽たちまち
忠ちゆう
念ねん
急きゆう
思し
怠たい
怒ど
恩おん
恐きよう
恭きよう
恵けい
息そく
恥ち
恋れん
悪あく
患かん
悠ゆう
惠けい
惡あく
惣そう
悲ひ
惑わく
愛あい
意い
感かん
愚ぐ
慈じ
愁しゆう
想そう
態たい
慕ほ

慰い
慶けい
慧けい
憂ゆう
慮りよ
憩けい
憲けん
應おう
懇こん
懲ちよう
懲ちよう
懸けん
戀れん

「戸部」

戸こ
戾れい
戾れい
房ぼう
扇せん
扉ひ

「衤、示部」

示じ
礼れい
社しゃ
社しゃ
折き
祈き
祉し
祉し
祝しゆく
祝しゆく
神じん
神じん
祖そ
祖そ

祐ゆう
祭さい
祥しょう
祥しょう
票ひよう
祕ひ
視し
視し
禁きん
祿ろく
禍か
禍か
禪ぜん
禎てい
福ふく
福ふく
禪ぜん
禮れい

「王、玉部」

王おう
玉ぎよく
全ぜん
珍ちん
玲れい
珠しゆ
班はん
球きゆう
現げん
理り
琴きん
琢たく
瑛えい
瑞ずい
瑠りゆう
瑤よう